

授業科目名	リプロダクティブ・ヘルス／ライツ	必修・選択の別	選 択
担当者氏名	北原かな子・岩間薫	開講期	1 年後期
		単位数	2

### 【授業の主題と目標】

ジェンダー概念に関連する諸事象を歴史的視点から学び、リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康／権利）の概念・意義等を国際的視点から捉えながら、セクシュアリティとジェンダー、女性の健康問題等について理解する。さらに、リプロダクティブ・ヘルス／ライツ確立に向けて考察し、行動することができるための知識を身に付ける。

### 【授業計画・内容】

- 第 1 回 ガイダンスー基本概念の説明と講義の概要
- 第 2～4 回 歴史の中の「ジェンダー」ー近代を中心に
- 第 5 回 現代社会システムにおける「ジェンダー」
- 第 6～7 回 リプロダクティブ・ヘルス／ライツの概念
- 第 8～9 回 セクシュアリティとジェンダー
- 第 10～11 回 リプロダクティブ・ヘルスを阻害する問題
- 第 12～14 回 リプロダクティブ・ヘルス／ライツ確立に向けて
- 第 15 回 試験

### 【授業形態】

講義

### 【教科書等】

資料配付

### 【参考文献】

適宜提示

### 【成績評価方法】

出席状況、レポート・試験成績等の総合評価

### 【学生へのメッセージ】

女性の皆さん！あなたは自分の体のことをどれだけわかっていますか？男性の皆さん！あなたの大切な人のことをどれだけわかっていますか？女性の視点から女性の健康問題・社会問題を一緒に考えてみませんか？

助産師を目指す人は、必ず履修して下さい。

授業科目名	人間関係論	必修・選択の別	選 択
担当者氏名	高 野 隆 一	開講期	2年後期
		単位数	2

※看護学科は必修

### 【授業の主題と目標】

人間関係において、相手を理解し受け入れていくために必要な基本的な態度やコミュニケーションのあり方、そして人間関係に関わる対人感情や対人認知の問題を理解し、良好な人間関係を持てるようにすることが目標である。講義終了時には、対人援助職として学習しておくべき基本的態度および必要なコミュニケーション技法について十分に習得することを目標とする。

### 【授業計画・内容】

- |        |   |
|--------|---|
| 第 1 回  | 援助的人間関係において必要な基本的な態度(1)「無防衛」、「共感」                     |
| 第 2 回  | 援助的人間関係において必要な基本的な態度(2)「受容」                           |
| 第 3 回  | 援助的人間関係において必要な基本的な態度(3)「熱意」、「間」、そして「心理的距離」            |
| 第 4 回  | 援助的態度を実現するための具体的な技法(1)「促しの技法」、「繰返しの技法」、「要約の技法」        |
| 第 5 回  | 援助的態度を実現するための具体的な技法(2)「解釈の技法」、「共感の技法」、「保障の技法」、「沈黙の技法」 |
| 第 6 回  | 援助的な態度を実現するための具体的な技法(3)「明確化の技法」、「質問の技法」、「対決の技法」       |
| 第 7 回  | 非言語的コミュニケーション   |
| 第 8 回  | 対人感情(1)好き嫌いの条件について                                    |
| 第 9 回  | 対人感情(2)条件付きの好き嫌いと無条件の好き嫌い                             |
| 第 10 回 | 対人認知と自己認知(1)印象形成のプロセスおよびステレオタイプによる認知                  |
| 第 11 回 | 対人認知と自己認知(2)自己評価と他者評価                                 |
| 第 12 回 | 対人認知と自己認知(3)他己評価による自分自身の理解                            |
| 第 13 回 | 主張行動と同調行動について   |
| 第 14 回 | 攻撃行動について  |
| 第 15 回 | 試験  |

### 【授業形態】

講義

### 【教科書等】

諏訪茂樹「援助者のためのコミュニケーションと人間関係」建帛社

### 【参考文献】

必要な場合は、プリント資料を配布する

### 【成績評価方法】

定期試験と出席状況の両方を考慮し、評価する

### 【学生へのメッセージ】

良好な人間関係を維持していくために必要で重要な基本的知識を学びます

授業科目名	家族論		必修・選択の別	選 択	
担当者氏名	出 雲 祐 二	開講期	1 年後期	単位数	2

### 【授業の主題と目標】

現代社会において家族がますます空洞化し、崩壊しているかのように言われている。児童虐待や子育ての問題が起こる一方で、高齢者扶養や介護の問題も家族と大きく関わっている。この講義ではこうした家族の変遷を理解するとともに、現代家族が抱えている問題とその背景について理解することを目的としている。また家族がそれぞれのライフサイクルで抱える課題、すなわち、結婚、出産、子育て、夫婦関係、親子関係、扶養関係・介護関係などについて学習することで、今後の家族像や家族形態について考えていきたい。さらに問題を抱える家族に関する分析方法や介入方法について概説する。

### 【授業計画・内容】

- 第 1 回 オリエンテーション
- 第 2～4 回 家族とは？家族の役割と機能
- 第 5～6 回 家族の変遷と社会の変化
- 第 7～9 回 結婚とは、夫婦とは？
- 第 10～12 回 子育てと親子関係
- 第 13～15 回 健全な家族と問題をもつ家族

### 【授業形態】

講義

### 【教科書等】

### 【参考文献】

参考文献などは講義の中で紹介する。

### 【成績評価方法】

課題レポートによる評価

### 【学生へのメッセージ】

福祉や保健医療の問題を家族の視点から捉えるように、学習していただきたい。

授業科目名	国際保健活動論		必修・選択の別	選 択	
担当者氏名	三 田 禮 造	開講期	3年後期	単位数	1

**【授業の主題と目標】**

国際保健活動の理解。

**【授業計画・内容】**

- 第 1～3 回 世界の保健事情の理解
- 第 4～8 回 国際保健に係わる組織の理解
- 第 9 回 わが国の国際保健への関わり
- 第 10 回 感染症の理解
- 第 11～13 回 UNICEF・WHO報告書講読
- 第 14～15 回 国際協力の一経験から

**【授業形態】**

講義は行うが、学生自身で資料を調べ、発表する。

**【教科書等】**

特に定めません。

**【参考文献】**

**【成績評価方法】**

レポート等による。

**【学生へのメッセージ】**

実際に海外で活躍された方から経験談を聞く機会を設ける予定。